

事務事業 No./名 称	■サービス部門 環境-08 減量化資源化運営事業							
	□支 援 部 門							
主管課	資源循環課		関連課		ごみ減量・資源化推進担当			
分野名	生活環境							
目標 (目標値)	3R事業を推進し、循環型社会の形成を目指す。また、生ごみ処理機の世帯稼働率29.2%(平成27年度)を目指す。							
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考			
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯				
運営資源 状 況	事業の対象者数							
	決算値(千円)	31,281	29,009	27,952				
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	31,281	29,009	27,952				
	人員配置数	5.0						
	人件費(千円)	44,695						
事務事業 運営経費	協働の パートナー							
	総事業費(千円)	75,976	74,295	71,922				
	市民1人当 りの経費(円)	429	419	407				
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	対象者1人 当りの経費(円)							
	団体名⇒	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	横浜市		
	生ごみ処理普及率	21.76%	17.55%	8.49%	24.52%	2.10%		
リサイクル率	46.70%	31.40%	17.70%	23.90%	26.00%			
	※22年度値							
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)	
ごみ焼却量	◎	目標値	40,340t	39,700t	39,745t	38,523t	26,163t	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △目標を越え 〇後退		実績値	40,173t	40,389t	39,100t			

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)				⇒	方向性					A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		
減量化資源化運営事業	15,417千円	①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☒ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	3Rの取組を推進する事業。													
減量化資源化運営事業(新)	15,864千円	①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☒ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	家庭用生ごみ処理機の普及を進め生ごみの減量・資源化を図る事業													
		①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	生ごみ処理機の普及目標台数1,840台(アクションプログラム目標値)達成に向けての取組。
課題解決のための取組	自治・町内会での生ごみ処理機の紹介や、各種イベントへの積極的な参加など普及活動を実施。年後半にはスーパーマーケット店頭にて展示説明会を行い、市民の方の目に触れる機会を増やした。なお、生ごみ処理機の普及目標台数については、年度途中に見直しを行い820台を目標値とした。
未解決の課題	市民の方が生ごみ処理機を入手しやすいチャネルの整備(市の直販制度)や子育て世代及び集合住宅への普及促進。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価と今後の方向性						
中事業の評価	適切＝○ 要改善＝△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性	○		 A	課長等名
		③有効性	○			資源循環課担当課長
		④公平性	○			小澤 圭介

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名		ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果	
減量化資源化運営事業	主な個別事業	1173	事務補助嘱託員報酬 2人	2,057	1,764	■適切	□見直し余地あり
		1173	3R推進事業奨励金	5,000	4,662	■適切	□見直し余地あり
		1173	事務補助嘱託員費用弁償	288	118	■適切	□見直し余地あり
		1173	啓発用消耗品費	405	401	■適切	□見直し余地あり
		1173	鎌倉ごみ減量通信印刷製本費	450	364	■適切	□見直し余地あり
		1173	資源物50音別分別区分冊子印刷製本費	273	204	■適切	□見直し余地あり
		1173	大型生ごみ処理機用光熱水費	179	180	■適切	□見直し余地あり
		1173	減量・資源化啓発委託料	1,422	337	■適切	□見直し余地あり
		1173	大型生ごみ処理機保守管理委託料	1,928	1,928	■適切	□見直し余地あり
		1173	家庭系ごみ質組成調査業務委託料	3,150	2,804	■適切	□見直し余地あり
		1173	大型生ごみ処理機賃借料	1,140	1,140	■適切	□見直し余地あり
減量化資源化運営事業(新)	主な個別事業	1104	啓発用消耗品費	143	69	■適切	□見直し余地あり
		1104	生ごみ処理機購入消耗品費	3,182	3,431	■適切	□見直し余地あり
		1104	大型生ごみ処理機用光熱水費	942	0	■適切	□見直し余地あり
		1104	啓発用チラシ等印刷製本費	245	94	■適切	□見直し余地あり
		1104	大型生ごみ処理機賃借料	3,788	24	■適切	□見直し余地あり
		1104	生ごみ処理機購入費補助金	15,000	12,145	■適切	□見直し余地あり
		1104	リユース食器補助金	505	100	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業					□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業					□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業					□適切	□見直し余地あり